

令和7年第10回筑西市教育委員会定例会会議録

招集日時	令和7年10月16日（木） 午後2時00分 （開会：午後1時55分 から 閉会：午後2時45分）
場 所	筑西市丙360番地 本庁舎3階 筑西市教育委員会302会議室
出席者	教育長：大森達也、教育長職務代理者：塚本真実、教育委員：草間武、教育委員：山口雅敏、教育委員：岡野陽子
欠席者	なし
傍聴者	なし
委員以外の出席者	教育部長：市塚文夫、副部長：吉原真由美、副部長：松本和能、副部長兼学務課長：稲川栄士、副部長兼指導課長：松山勝洋 学校給食課長：舘野満章、生涯学習課長：飯島知枝、文化スポーツ課課長補佐：坂入良一 学務課学校総務係課長補佐：稲葉美沙子、学務課学校総務係主任：埴知尋
議 案	なし
議事の概要	教 育 長： ただいまから、令和7年第10回筑西市教育委員会定例会を開会します。 それでは、日程2 報告事項に入ります。（1）筑西市立学校給食センター運営委員会の協議報告について、説明をお願いします。 学 校 給 食 課 長： 報告事項（1）筑西市立学校給食センター運営委員会の協議報告について、ご説明いたします。 こちらは、去る、10月2日（木）に学校給食センター運営委員会を開催し、協議いたしました内容について報告をさせていただくものとなります。 まず、「明野学校給食センターのあり方について」ですが、現在、明野学校給食センターは築20年以上経過しており、施設の老朽化が進行している状況です。また、今後の児童生徒及び教職員数の推移を予測すると、3年後には、市内の給食提供対象人数が6,721名になる見込みです。これは、下館給食センターの持つ1日当たり7,000食の提供能力内で対応可能な人数であることから、明野学校給食センターを3年後に閉鎖し、給食センターを下館1か所に集約する方向で検討を進めております。これにより、施設の維持管理費が削減でき、限られた予算を効率的に活用できる見通しです。 次に、「筑西市立学校等給食費取扱規則の改定について」ですが、今回、規則の改定として、教職員の給食費を

1 か月あたり1,000円増額する内容となっています。

なお、児童生徒の給食費は据え置きとなります。改定の背景としまして、筑西市発足後の平成22年に給食費を統一してから、一度も値上げを行わずにこれまで運営を続けてまいりました。しかしながら、昨今の物価高騰の影響により、賄材料費が当初予算を超える状況が続いており、国の交付金活用や補正予算を組んで対応してまいりましたが、厳しい財政状況を踏まえ、給食費の見直しを検討する運びとなりました。現在、1食あたり270円を基準に給食の献立を立てておりますが、実際には、1食あたり約350円掛かっているのが現状です。また、教職員から月額4,800円を給食費として徴収しておりますが、実際の運営費用に見合っていない状況です。このため、近隣自治体の給食費改定状況を参考に、1か月あたり1,000円増額し、月額5,800円とする案を提示いたしました。賄材料費の試算につきましては、予算ベースに基づいて計算しております。例えば、米、肉、野菜などの価格高騰が想定より少なかった場合でも、教職員負担額が過剰となることがないように配慮し、適切な金額設定を行いました。

なお、この改定は令和8年1月（3学期）から適用予定となっております。

以上の内容を学校給食センター運営委員会で協議し、同意をいただきました。また、筑西市立学校等給食費取扱規則の改正につきましては、次回の教育委員会定例会において、議案として提出させていただきたいと考えております。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

教 育 長： ただいま、（1）筑西市立学校給食センター運営委員会の協議報告について、説明いただきましたが、ご質問等ございましたらお願いいたします。

草 間 委 員： 給食費の値上げは教職員のみとの説明でしたが、それで賄えるものなのですか？

学 校 給 食 課 長： 児童生徒の給食費については、現在、無償化として対応しているところですので、まずは教職員のみ増額させていただくというものになります。

塚 本 委 員： 明野給食センターが閉鎖された場合、現在勤めている職員はどうなるのでしょうか。

学 校 給 食 課 長： 給食センターの運営については、業務委託により給食を提供している状況となっております。明野給食センターについては、現在3年間の契約を行っており、閉鎖を予定している令和9年度に、業務委託契約も満了となることとなります。

塚 本 委 員： ありがとうございます。もうひとつ確認なのですが、下館給食センターに集約した場合、給食の配送には影響は

ないのでしょうか。

学校給食課長： 現在、明野給食センターに配送車が2台ありますので、その2台を下館に移管し、下館からの配送を計10台の配送車で対応をする予定であります。配送ルートや配食時間等については、これから詳細な調整が必要になりますが、現在の試算においては、対応可能であると想定しています。

岡野委員： 下館学校給食センターからですと、明野五葉学園までけっこうな距離があると思われませんが、給食は冷めたりしないのでしょうか。

学校給食課長： 保冷保温性のある食缶にいれて配送されるため、給食出来上がり時から多少冷めてしまうと思いますが、冷え切ってしまうということはないと思います。また、できあがりから2時間以内に食べてもらえるように対応しているため、よほどのことがない限り冷たくなってしまいうということはないと思われま。

草間委員： 話が戻りますが、給食センターの運営については業務委託を行っているという話がありましたが、現在、給食を作っているスタッフに市の職員はいないということですか。

学校給食課長： お見込みのとおりです。

塚本委員： 給食センターが統合された際に気を付けていただきたいのが、明野給食センターでのアレルギー対応の情報については、きちんと申し送りをしていただければと思います。

学校給食課長： 下館給食センターにおいても、アレルギーの対応は行っておりますので、アレルギーがある方については面談等の対応を行い、引き続きアレルギーに配慮した食事を提供していきます。

教育長： よろしいでしょうか。

続きまして、(2)第18回「筑西市教育の集い」について、説明をお願いします。

生涯学習課長： 報告事項(2)第18回「筑西市教育の集い」について、ご説明いたします。

こちらの事業は、青少年育成市民の会、筑西市校長会、筑西市教育委員会が共同主体として実施しているものになりまして、今年度は、11月23日(日)に、筑西市立生涯学習センター(ペアーノ)を会場として開催いたします。各学校での学習活動、生活の様子などを、小中学生自らが工夫を凝らして発表を行います。教育委員の皆様におかれましても、お忙しいところとは存じますが、ご覧いただければと思います。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

教 育 長： ただいま、(2)第18回「筑西市教育の集い」について、説明いただきましたが、ご質問等ございましたらお願いいたします。

草 間 委 員： 他の市町村ではこういった取組みは行っているのですか。

生涯学習課長： こちらの事業は、県の教育月間に合わせて開始されたものとなります。他市町村の状況については、正確に把握できてはいないのですが、筑西市のように盛んに実施している市町村はあまりないのではないかと思います。

草 間 委 員： とても素晴らしい取組みだと思うので、他市町村にも知っていただければと思っています。

教 育 長： よろしいでしょうか。

続きまして、(3)第21回ちくせいハーフマラソンのエントリー状況について、説明をお願いします。

文化スポーツ課課長補佐： 報告事項(3)第21回ちくせいハーフマラソンのエントリー状況について、ご説明いたします。

12月14日(日)にヒロサワ運動公園(下館運動公園)において、第21回ちくせいハーフマラソンが開催予定となっております。先月9月23日までがエントリー期間となっており、集計作業が完了しましたので、ご報告させていただきます。全種目の合計エントリー者数は2,009名で、昨年度と比較して243名の増となっているところです。今大会の目玉であるハーフマラソンについては、696名となっております。前回大会においてもランナーの皆様から高評価をいただきましたが、昨年度よりも充実した大会となるよう、ちくせいハーフマラソン実行委員会の事務局であり、市体育施設指定管理者でもあるNPO法人日本スポーツ振興協会と連携し、大会成功に向けて準備を進めてまいります。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

教 育 長： ただいま、(3)第21回ちくせいハーフマラソンのエントリー状況について、説明いただきましたが、ご質問等ございましたらお願いいたします。

塚 本 委 員： 今大会で、遠方の参加者はどのあたりの方がいるのでしょうか。

文化スポーツ課課長補佐： 手持ちの資料で確認が取れないので正確には回答できないのですが、記録が出やすいということもあり、昨年度参加された方たちが、引き続き今年度も参加していただいている様子も見受けられます。

塚 本 委 員： 以前は東北や北海道といった遠方から参加していただいた方もいらっしゃったと思います。

文化スポーツ課課長補佐： マラソンのエントリー権については、ふるさと納税の返礼品としても登録されており、5名の方がふるさと納

協 議

税を活用して参加されるようです。

草 間 委 員： 中学生の参加が少ないようですが。

文化スポーツ課課長補佐： 今年度の参加者数は 61 名となっており、昨年度と比較して 38 名少なくなっています。その代わり、5 km マラソンとハーフマラソンの参加者が増えているため全体の参加者数は増となります。また、小学生の参加も増えておりまして、昨年度と比較して低学年の層で 20 名、中学年で 25 名ほど増えているような状況ですが、高学年では 4 名減となっています。

教 育 長： よろしいでしょうか。

続きまして、日程 4 協議に入ります。（１）その他協議事項について、委員のみなさんから協議したい事項について、なにかございましたら挙手をお願いいたします。

草 間 委 員： 義務教育学校の視察に力を入れていただきたいと思います。これから協和地区の義務教育学校の整備を進めていくと思いますが、義務教育学校の法整備をする際にモデルとなったような最先端の学校を視察していただき、学校運営のノウハウ等を学ぶ機会を設けていただければいいと思います。やはり、開校してからの学校運営、基本的な考え方が重要だと思います。授業時数の活用についても、義務教育学校だからこそ取り組める一貫したカリキュラムを取り入れるなど必要なのではないのでしょうか。

教 育 部 長： 明野地区での義務教育学校整備の際に、準備委員会で近隣の義務教育学校に先進地視察として訪問させていただきました。委員会のメンバーには学校の先生もおりましたので、一緒に視察に参加して話を伺わせていただいた経緯があります。協和地区の整備を進めるうえでも、必要に応じて、研修先も含めて検討する余地はあると思います。

教 育 長： 義務教育学校での一貫したカリキュラムについて、例えば、英語に力を入れたい義務教育学校が、国に申請をし、１年生から英語活動を精力的に取り入れ、９年生になった際には 7 ～ 8 割の生徒が英検 3 級を取得できる英語力を身に付けられるよう、共通理念をもって取り組んでいくということではできると思います。ただ、学習内容に大きな変更を生じるような取り組みについては、学ぶべきことを学べなくなるおそれもありますし、教職員に大きな負担を強いることになることも想定されます。教育の標準化ということを考えると、公立の学校である以上、義務教育学校でも取り組める内容には限度があるのではないかと思います。どこの義務教育学校も、義務教育学校という利点を活かして、特色ある取り組みを取り入れようと努めているのではないかと思います。

塚 本 委 員： 学校運営のための研修も大切だとは思いますが、義務教育学校の先生方が働きやすい環境づくり、人間関係作りが学校全体を良い方向に進めていくきっかけになるのではないのでしょうか。明野五葉学園もまだ開校して間もないため、先生方の連携を大切にいただき、新たなことにチャレンジしていただければと思っています。良い結果を残そうと焦る気持ちもわかるのですが、先生方の雰囲気は子どもたちへの影響も大きいいため、地盤固めといいますか、先生方の環境、雰囲気を大切にいただき、子どもたちに接していただければと思います。

教 育 長： ありがとうございます。学校の雰囲気については、義務教育学校に限らず、すべての学校に共通するべき事項です。現場の先生方には、まずは協力して学校運営に携わっていただき、行政側の職員は、今後の義務教育学校の在り方についての調査研究を行い、現場に還元していくことが大切なのではないかと思っています。

よろしいでしょうか。

以上をもちまして、令和7年第10回筑西市教育委員会定例会を閉会します。